



平和を考える市民のつどい

THINK THE PEACE 2022

8/13 映画
「北の桜守」(日本語字幕付き)

同時開催: 平和ワークショップ参加者による発表

とき 8月13日(土)午後1時から(午後0時開場) **ところ** SAYAKA ホール・大ホール **定員** 500人(先着順)
申し込み 4日(月)から市内公共施設で配布する申込書を、〒589-8501 大阪狭山市役所市民相談・人権啓発グループ。住所・名前・電話番号・メールアドレスをファクシミリ (FAX 366-0051)、電子メール (jinken@city.osakasayama.osaka.jp)、市ホームページからも可



© 2018「北の桜守」製作委員会

1945年5月、南樺太に住む江蓮(えづれ)家の庭に待望の桜が開いた。夫と息子たちと暮らす江蓮でつが大切に育てたその花は、やがて家族の約束となる。しかし8月、本土が終戦に向かう中、樺太にはソ連軍が迫っていた。樺太に残る夫との再会を約束し、てつは二人の息子を連れて網走へと逃げ延びる。

時は流れ1971年、次男の修二郎はアメリカに渡って成功し、米国企業の日本社長として帰国する。15年ぶりに網走へ母を訪ねると、そこには年老いたてつの姿があった。一人暮らしが心もとなく思えるその様子に、再び母と共に暮らす決意を固める修二郎。しかし想いあうがゆえに母子はすれ違いを重ね、立派になった修二郎に迷惑をかけたくないと、てつは一人網走に戻ろうとする。

母に寄り添いたいと願う修二郎は、二人で北海道の各地を巡り、共に過ごした記憶を拾い集めるように旅を始める。再会を誓った家族への想い。寒さと苦難を共にした懐かしく温かい人々との再会。

幸せとは、記憶とは、そして親子とは。そして満開の桜の下で明かされる、衝撃の真実——

8/7 夏のおはなし会
「平和に関する本の読み聞かせ」

とき 8月7日(日)午前11時～11時40分
ところ 図書館・おはなしコーナー **協力** さやまおはなしの会

8/6 8/9
午前8時15分 午前11時2分

原爆死没者の慰霊と
平和黙とうを

昭和20年(1945年)8月6日広島に、9日長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われました。皆さんも職場や家庭で原爆投下時刻に合わせて1分間の黙とうをお願いします。



資料提供: 日本非核宣言自治体協議会